

## 第12回姫路市新型コロナウイルス感染症対策本部会議での指示事項

(令和2年11月30日)

全国的に新型コロナウイルスの感染が拡大しており、国内の発生件数は連日2,000人を超え、重症化リスクが高い高齢者への感染が相次いでいます。また、病床の使用率も増加し、病床逼迫の懸念が高まっています。

兵庫県では、医療機関や社会福祉施設などでのクラスターの発生もあり、11月20日にはフェーズが「感染拡大特別期」に入り、26日には1日としては過去最多となる184人の感染者を数え、感染がとどまらない状況です。

本市でも、21日に過去最多となる22人の新規感染者が発生し、その後も20人以上と高い数値が続いており、直近1週間の人口10万人当りの新規感染者数も14.9人と増加している。また、多くの市立学校で感染を確認しており、これに伴うPCR検査も1日に1,000件を超える事態となっています。更に、今後、季節性インフルエンザとの同時流行も懸念されます。

PCR検査の件数が著しく増加し、検査体制が逼迫していることから、今後のPCR検査体制について、以下のように方針を転換します。

### ■感染症対策や疫学調査の機能の充実

- ・感染症対策専門のプロジェクトチームを立ち上げ人員も増員します。
- ・他部署にいる保健師の応援体制を構築します。

### ■高齢者施設に対する感染対策

- ・高齢者施設等の入所者又は介護従事者等で発熱等の症状を呈する方については全員検査します。
- ・陽性が判明した場合には、健康状態に関わらず当該施設の入所者及び従事者は全員検査します。

### ■学校・児童施設などに対する感染対策

- ・学校などで陽性者が発生した場合、希望する関係者全員にPCR検査を行ってきましたが、今後は濃厚接触者を中心に、コアとなる生徒・園児などを調査し感染拡大を防止します。
- ・PCR検査などに要していた時間短縮により臨時休校は原則行いません。
- ・学校・園などの名前の公表はクラスターの発生など特別な状況になった時のみとします。

市民の皆さまには、感染リスクが高まるとされる「5つの場面」、飲酒を伴う懇親会等、大人数や長時間におよぶ飲食、マスクなしでの会話、狭い空間での共同生活、休憩室等への居場所の切り替わりに特に注意をお願いします。高齢者、基礎疾患のある方は、不要不急の外出を控えてください。また、ウイルスを家庭や職場に持ち込まないように、行動や健康管理に注意をお願いします。検温の実施、感染防止の基本となるマスクの着用、手洗い、3密の回避の徹底をお願いします。冬期を迎え暖房を使用する場合でも、換気や適度な保湿をお願いします。

皆さま一人ひとりが「うつらない・うつさない」との強い思いで取り組むことが大切です。一層のご理解、ご協力をお願いします。

市役所の各部署においては、感染防御の徹底や業務継続計画の再確認を行うこと。職員においては、一人ひとりが意識を高め、プライベートでの行動においても感染予防について最大限の取り組みを行い、市民の規範となるよう感染拡大防止に努めるよう指示します。